

## 令和2年度の文化功労者に滝理事長 「文化創造の主体に」信念貫く

公益財団法人 日本交通文化協会(東京都千代田区)の滝久雄理事長が、2020年度(令和2年度)の文化功労者に選ばれました。長年にわたり、文化芸術の支援と振興に力を注いできたことが認められました。企業経営者でもある滝理事長は「企業はビジネスだけでなく、文化創造の主体にならなければならない。それによって社会の発展に貢献できる」との信念を一貫して持ち続けています。

### ◇文化芸術への4つの支援

滝理事長の文化芸術への支援と振興は4分野に分かれます。

#### 1 アーティストを志す若者への支援

##### 国際瀧富士美術賞の事業を推進

アーティストを志す若者への支援では、国際瀧富士美術賞の事業を推進しています。1980年に設立されたこの賞は、国内外の美術大学の4年生を対象としており、この種の賞としては最も歴史があります。昨年40周年を迎え、受賞者総数は780人を超え、賞金である奨学金の給付総額は約2億3千万円に上ります。現在、日本をはじめ8カ国26美大を対象としていますが、国内外で活躍する著名なアーティストを多く輩出しています。

#### 2 アーティストや芸術家に創作の機会を提供

##### クレーレ熱海ゆがわら工房を製作拠点に

滝理事長はアーティストや芸術家に創作の機会を提供することに長年、取り組んできました。1972年にパブリックアートの第1号を東京駅に設置したことを皮切りに、各地にパブリックアートの作品を設置しています。その製作拠点として1981年、陶板レリーフとスタンドグラスの世界的な技術を誇るクレーレ熱海ゆがわら工房(静岡県熱海市)を株式会社エヌケービー(東京都千代田区、代表取締役社長:外谷敬之)に設けました。製作拠点を構えたことでアーティストや芸術家とのコラボレーションも容易になり、2020年10月末現在で日本全国に設置した陶板レリーフとスタンドグラスを中心としたパブリックアートは545を数えます。数多くのアーティストが創作の機会を得てきました。滝理事長は近年、漫画家にも声を掛け、その原画をスタンドグラスや陶板レリーフにするなどポップアートとも協力し、作品のすそ野を広げています。

### 3 文化芸術を身近なものにする活動

#### 交通総合文化展に注力

滝理事長は文化芸術を暮らしの中に溶け込ませ、人々にとって文化芸術を身近なものにする活動に力を入れています。パブリックアートが駅舎や空港、学校、公園などに設置されることで、人々にとって身近に文化芸術に触れる機会となっています。交通総合文化展もその一つです。1954年に前身となる交通人総合文化展が始まり、内容を工夫しながら今日に至っています。交通総合文化展では毎年10月、上野駅中央改札を出たコンコースを会場に、鉄道や風景、観光地などをテーマに全国公募した写真と俳句の中から優秀な作品を紹介するほか、日本の第一級の芸術家の絵画、書などの新作を展示しています。さらに、その年に設置したパブリックアート作品のパネルを展示し、国際瀧富士美術賞OBによる創作発表の場にもなっています。

### 4 文化芸術を重視した文化政策への転換を

#### 1%フォー・アートの法制化を求め

滝理事長が国の文化政策について取り組んできたのが「1%フォー・アート」の法制化を求める活動です。1%フォー・アートは公共建築物の費用の一部（国によって1%～0.5%などさまざまです）を、その建築物に付随する文化芸術に使う政策です。米国・欧米では以前から法制化され、アジアでは韓国と台湾で取り入れられています。滝理事長は2000年に東京藝術大学名誉教授の平山郁夫氏と清家清氏をはじめとする芸術、交通、学識の各界の有識者で構成する委員会を組織し、「パブリックアートの振興に関する提言」をまとめ、文化庁長官や運輸大臣などに提出しました。ここで大きな柱となったのが1%フォー・アートの法制化です。日本でも認識が広がり、日本美術家連盟が2019年に1%フォー・アートについてのシンポジウムを開いたときには全面協力。2020年5月には「文化芸術の抜本的な振興のための提言 コロナ禍のいまこそ『1%フォー・アート』の実現を」をまとめました。

なお、滝理事長は文部科学相の諮問機関である文化審議会の「文化財分科会企画調査会」委員に任命され、10月28日の第1回会合に出席します。

#### ◇滝理事長の主な受賞歴

1999年12月 交通文化賞（運輸大臣表彰）

2003年10月 東京都功労賞

2008年12月 社団法人日本広告業協会(現・一般社団法人日本広告業協会)功労賞「経済産業大臣賞」

2010年6月 「情報通信月間」総務大臣表彰

2016年3月 大倉喜七郎賞（ペア碁を通じた囲碁の国際化などの業績に対して）

2018年5月 第53回吉田秀雄記念賞

2019年3月 文化庁長官表彰（パブリックアート等の文化芸術振興の寄与に対して）